

脆弱性診断からのシステムのハードニング作業紹介

# AEGIS-EW（イージス EW）

御紹介

&

～ IoT機器の定期脆弱性診断 ～

2024年8月

株式会社 未来研究所



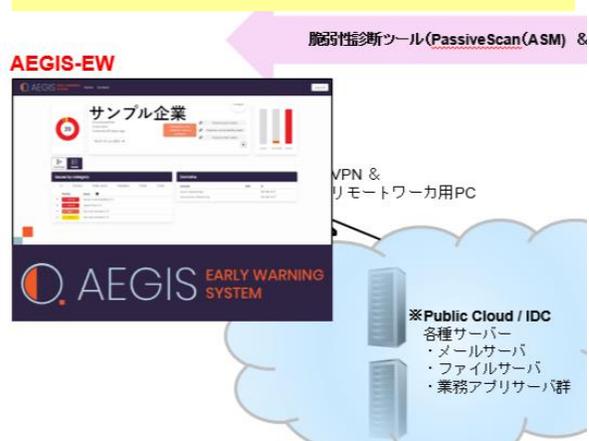
ASM・パッシブスキャン+ペネトレの決定版  
AEGIS-EW

# IoT機器メーカー・資産管理ツール提供メーカー 様への御提案

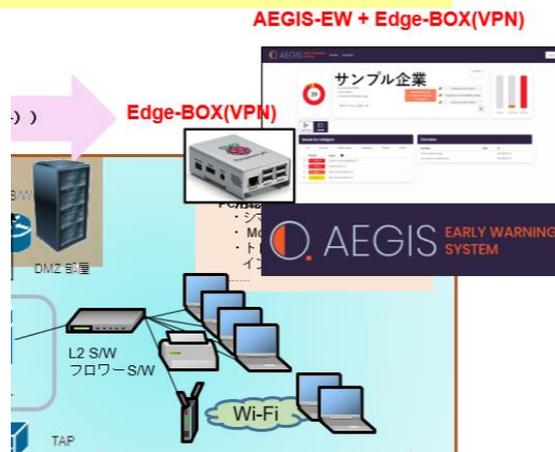
※弊社では、サイバーセキュリティ業務全般での御支援を開始させていただいております。  
何なりとお声がけの方、宜しく願い申し上げます

- 現状のイージスEW・脆弱性診断対象は、
  - － インターネット上のASM/ペネトレ
  - － イントラの社内端末群のペネトレ
    - VPN-BOX (Edge-BOX) を介して、AWSパブリッククラウドで動作するイージスEWを中継する事で、インターネット版と同様のGUI上での診断結果管理が可能になります
  - － 納品前のネットワーク構築の脆弱性診断
    - キットセンターからインターネットに接続するためにSIM付ルータ+VPN-BOX (Edge-BOX) を介して、AWSパブリッククラウドで動作するイージスEWを中継する事で、同様のイージスEW・GUI上での診断結果管理が可能になります

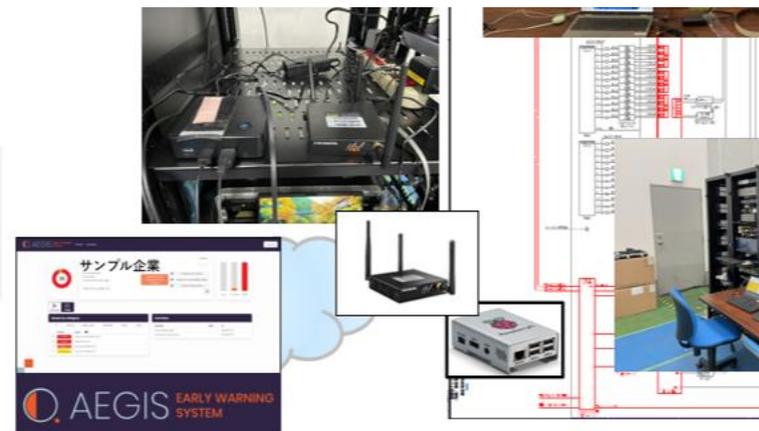
## ※インターネット上脆弱性診断



## ※社内端末群・脆弱性診断



## ※納品前システム・脆弱性診断



- IoT機器、単発でも定期的脆弱性診断を実行できて、ゼロデイ攻撃からも防御できる品質を実現できます
- IoT機器にはVPN-Clientソフト（弊社指定）を搭載することで、リモートから定期的にイージスEW（プラットホーム脆弱性診断）を実施します
  - IPカメラ
  - NAS
  - 資産アプリ
  - …等々

イージスEW



※IPカメラ

※NAS

※Router/UTM

※資産管理サーバ

※ネットワーク監視ツール

+ VPN-Clientドライバー

+ VPN-Clientドライバー

+ VPN-Clientドライバー

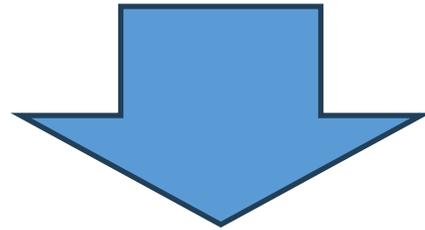
+ VPN-Clientドライバー

+ VPN-Clientドライバー



Network Node Manager

- 必要なのは、イージスEWと通信するためのVPN-Clientドライバーをインストールするだけです
  - 貴社IoT機器のオプションサービスとして、定期・プラットフォーム脆弱性診断を提供できます
  - 特定社会基盤事業者の案件にて、本機能を差別化として提示することができます
    - 仕様に入れ込めればベストです



**是非、貴社商材で、動作確認をさせてください！**

対象機器に、OSS、MS Windows系のOSが搭載されており、且つ、改造が入っていないことが、条件となります

- IoT機器の出荷前、インフラ脆弱性診断結果を御提供
  - あくまでも、出荷時の話で、運用フェーズになると保証の限りではない
    - 定期脆弱性診断のオーダを促す
    - 顧客が特定社会基盤の場合、本証明書は必須となります

貴社IoT機器/サーバ



出荷

エンドユーザ

- 定期・イージスEW脆弱性診断の実施に繋げる
- 該当ユーザのインターネット・イントラネットの全端末脆弱性診断に繋げる

Thanks